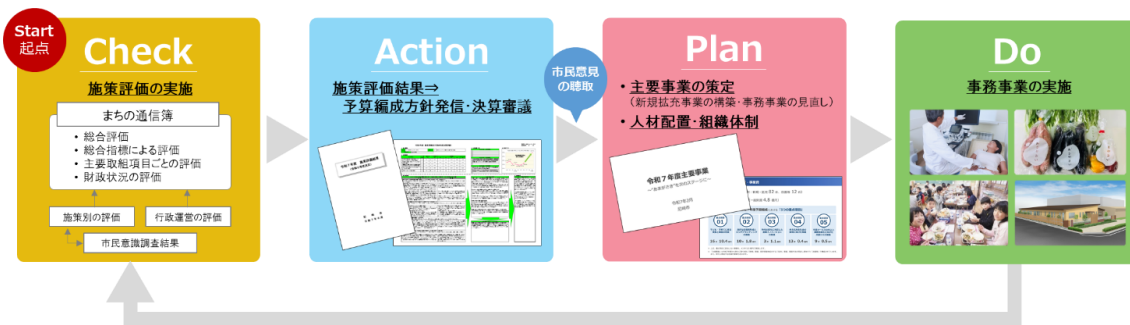
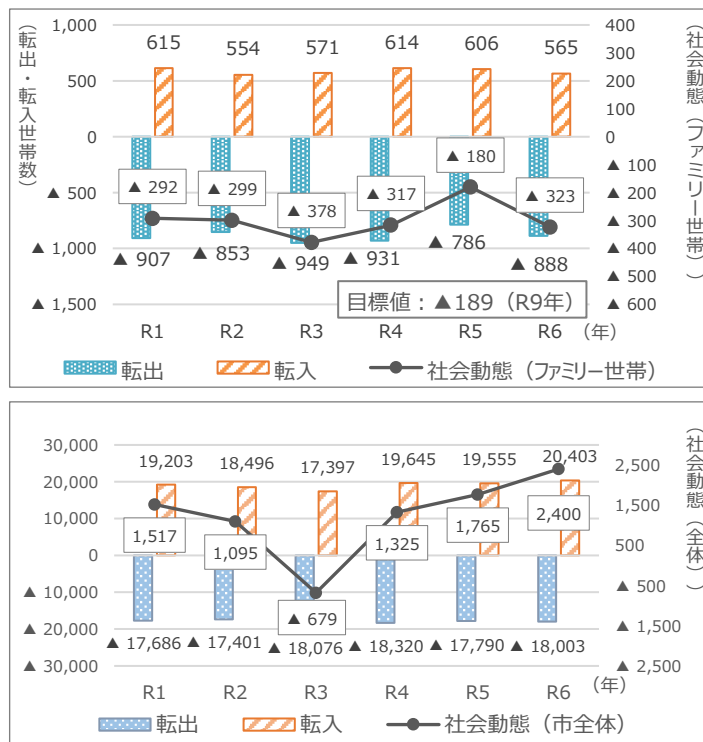


施策評価を起点としたPDCAサイクル



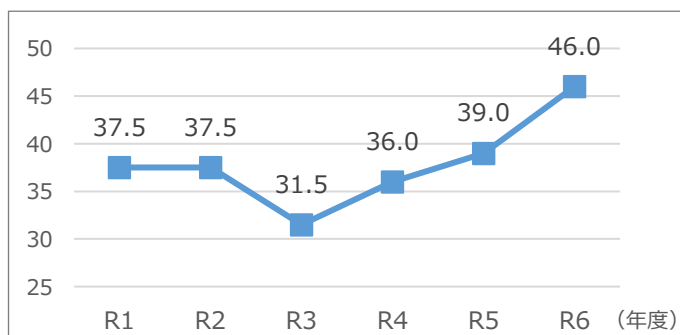
施策評価における振り返りの中では、次のような指標の傾向が見られました。

①ファミリー世帯（5歳未満の子どもがいる世帯）の転出超過数は前年から増加



- ・ファミリー世帯の転出超過数は 323 世帯となり、前年から増加し、一昨年並みの水準となりました。
- ・一方、市全体の社会動態でみると、令和6年は2,400人の転入超過で、3年連続の社会増となり、57年ぶりの高い数字となっています。
- ・近年増加傾向にある単身世帯に加え、転入超過が続く二人世帯がファミリー世帯になっても「住みたい」「住み続けたい」と感じられるまちづくりを更に進めるとともに、引き続き、定住・転入の促進に取り組めます。

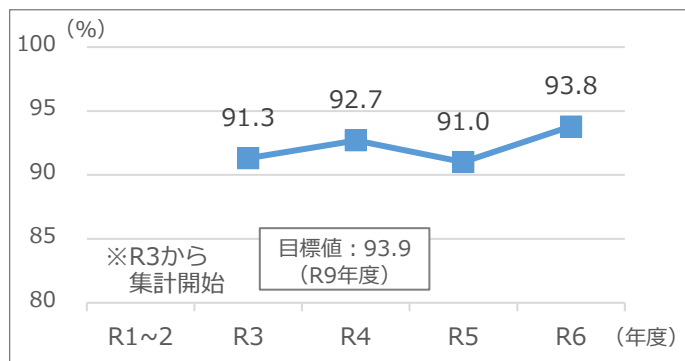
②「地域推奨意欲」が大きく向上し、若年層を中心にまちに対する評価が上昇



(出典：令和6年度市民意識調査結果)

- ・わがまちをオススメしたい「地域推奨意欲」は 46.0 と、前年度から大きく増加し、特に若い世代の意欲が高くなっています。
- ・まちの魅力やイメージ向上に向けた、これまでの取組が実を結び、これらの指標に成果として表れていると評価しています。

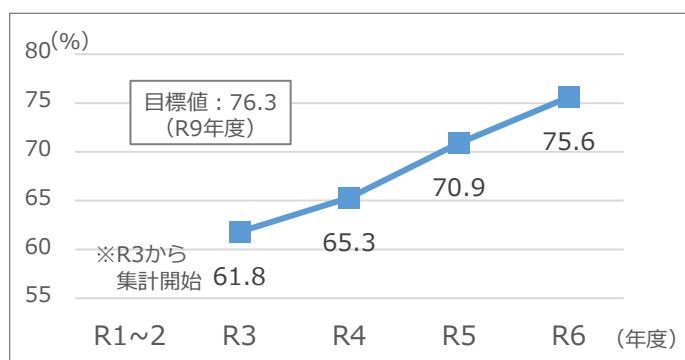
③『「尼崎市に住んでよかった」と感じている市民の割合」はほぼ目標値を達成



(出典：令和6年度市民意識調査結果)

- ・居住地としてのまちの評価を測る「市民の実感」を確認しているこの指標は、**93.8%まで上昇し、過去最高を更新**しています。
- ・高い生活利便性や職住近接などの本市の強みが評価されるとともに、シチズンシップの向上やシビックプライドの醸成への取組の成果が表れています。

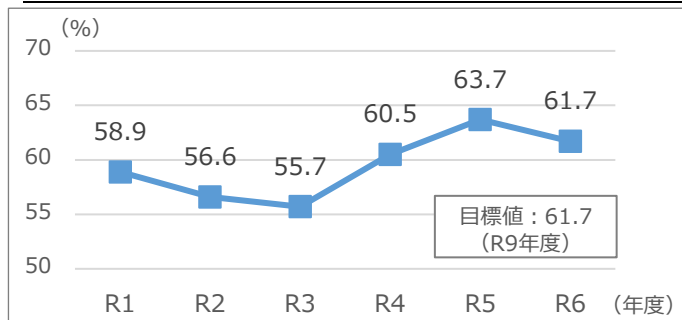
④「安全で安心して暮らせるまち」だと感じている市民の割合は着実に増加



(出典：令和6年度市民意識調査結果)

- ・「安全で安心して暮らせるまち」だと感じている市民の割合は、**75.6%と着実に増加し、過去最高を更新**しました。
- ・多様な支援ニーズに応える施策の充実を図り、誰もが安心して暮らせる包摂的な社会づくりに向けた基盤の強化を

⑤「まちのイメージが良くなった」と感じている市民の割合は高い水準を維持



(出典：令和6年度市民意識調査結果)

- ・「まちのイメージが良くなった」と感じている市民の割合は、**61.7%と前年度から引き続き高い水準を維持**しています。
- ・近年着実に改善傾向にあることから、更なる高みを目指し、まちの魅力向上と発信に取り組みます。

こうした指標の推移や施策別の評価、社会情勢などを踏まえた
総合評価を行い、令和8年度の予算編成方針を策定

令和8年度の予算編成に向けて（予算編成方針）

- ・ 本市はこれまで、不断の行財政改革に取り組み、都市の体質転換や税源の涵養を図りながら、多様な施策を積み重ね、成果として、財政状況の改善をはじめ、人口の社会動態やまちのイメージの向上にも表れつつあり、本市は「選ばれるまち」として着実に歩みを進めています。
- ・ この前向きな流れを更に加速させるため、市民生活を支える基盤的な政策を実施しつつも、本市の持つ強みを一層有効に活かし、多様な主体との連携・協働も視野に入れながら、相乗的な波及効果が期待できるような戦略的な政策にも積極的に投資していくことが重要です。
- ・ 具体的には、「あまがさき子ども・子育てアクションプラン」「良好な住環境形成のための住宅施策パッケージ」「あまがさき共創 DX プラン」「あまがさき多文化共生施策アクションプラン」などの施策パッケージを継続的にアップデートさせるとともに、地域経済の活性化に向けたイノベーションの創出や、多様な人材が活躍できる就労環境づくりに向けた支援の検討を進め、住まい・子育て・教育・雇用就労といった、それぞれの分野の実態に即した施策を着実に実行・実現していきます。
- ・ 令和8年度の予算編成に向けては、これまでの成果と課題を把握し、次の項目に重点的に取り組んでいきます。

重点項目1 安心して働き、子育てができる環境づくりと子どもの育ち支援の充実

- ・ 子育てに係る家計・ゆとり・安心のサポートの取組強化
- ・ 子どもの安全確保のための環境づくり
- ・ 個別最適な学びの保障と機会の確保

重点項目2 まちの価値を高める良好な住環境形成とエリアブランディングの推進

- ・ 住宅の新陳代謝の促進
- ・ 安全かつ快適に住み続けられる住環境の実現
- ・ 鉄道駅を中心としたまちの魅力と活力の創生に向けた取組の推進

重点項目3 市内事業者の挑戦を応援し、多様な人材が活躍できる地域経済活性化

- ・ 地域経済の成長へつながるイノベーション創出支援
- ・ 地域経済を支える雇用就労支援の充実

重点項目4 誰もが安心して暮らせる包摂的な社会づくりに向けた基盤強化

- ・ 多様な背景を持つ人々が安心して暮らし続けられる基盤づくり

重点項目5 市民の利便性や満足度を高める共創DXの推進

- ・ デジタル技術を活用した市民サービスの向上と業務の効率化

まちの通信簿の公表

- ・ 施策評価を通じたまちづくりの進捗状況の評価
- ・ 評価をもとにした今後重点的に取り組む項目を、市民の皆さんにも分かりやすくまとめた、「まちの通信簿」（あまがさきのあゆみ）を発行します。

